



# Latitude 5591

## セットアップと仕様ガイド



## メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

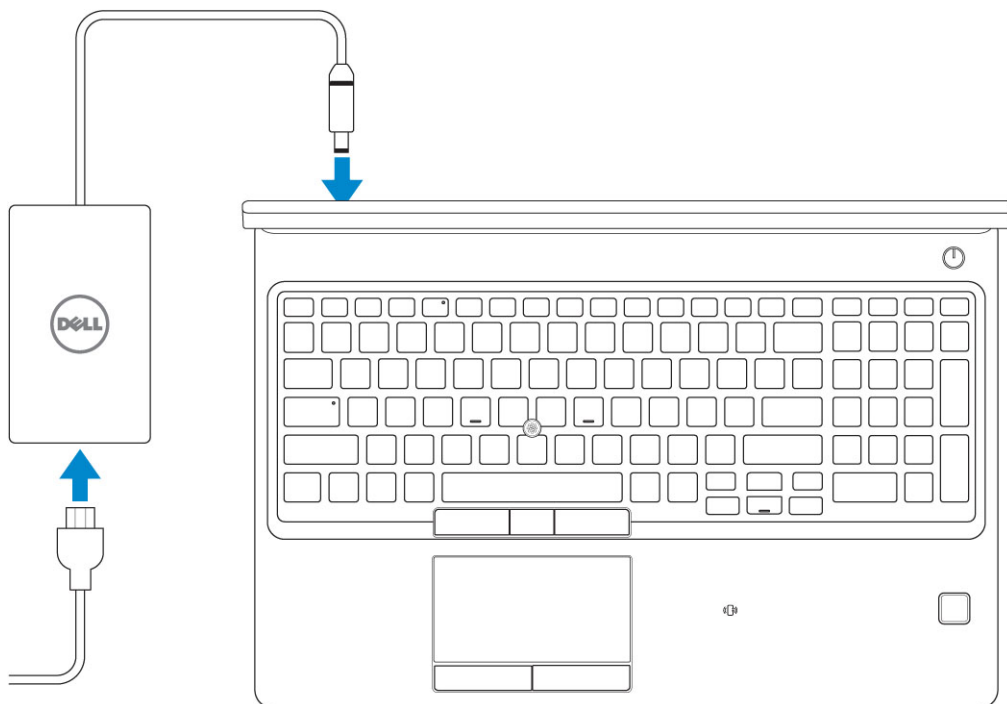
 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

<b>章 1: コンピュータのセットアップ</b> .....	<b>5</b>
<b>章 2: シャーシの図</b> .....	<b>7</b>
正面を開いた図.....	7
背面図.....	8
左面図.....	8
右面図.....	9
パームレストの図.....	9
<b>章 3: システム仕様</b> .....	<b>11</b>
寸法と重量.....	11
プロセッサ.....	11
システム情報.....	12
オペレーティングシステム.....	12
メモリ.....	12
ポートとコネクタ.....	13
通信.....	14
オーディオ.....	14
ビデオ.....	14
ストレージ.....	15
メディア カード リーダー.....	15
ディスプレイ.....	16
キーボード.....	16
カメラ.....	17
タッチパッド.....	17
バッテリー.....	17
入力デバイス.....	18
電源アダプター.....	19
環境.....	19
<b>章 4: セットアップユーティリティのオプション</b> .....	<b>21</b>
ブート シーケンス.....	21
ナビゲーションキー.....	22
セットアップユーティリティの概要.....	22
セットアップユーティリティへのアクセス.....	22
一般的な画面オプション.....	22
システム設定画面のオプション.....	23
ビデオ画面オプション.....	25
セキュリティ画面オプション.....	25
安全起動画面のオプション.....	27
Intel ソフトウェアガードエクステンション.....	28
パフォーマンス画面のオプション.....	28
電力管理画面のオプション.....	29
POST 動作画面のオプション.....	30

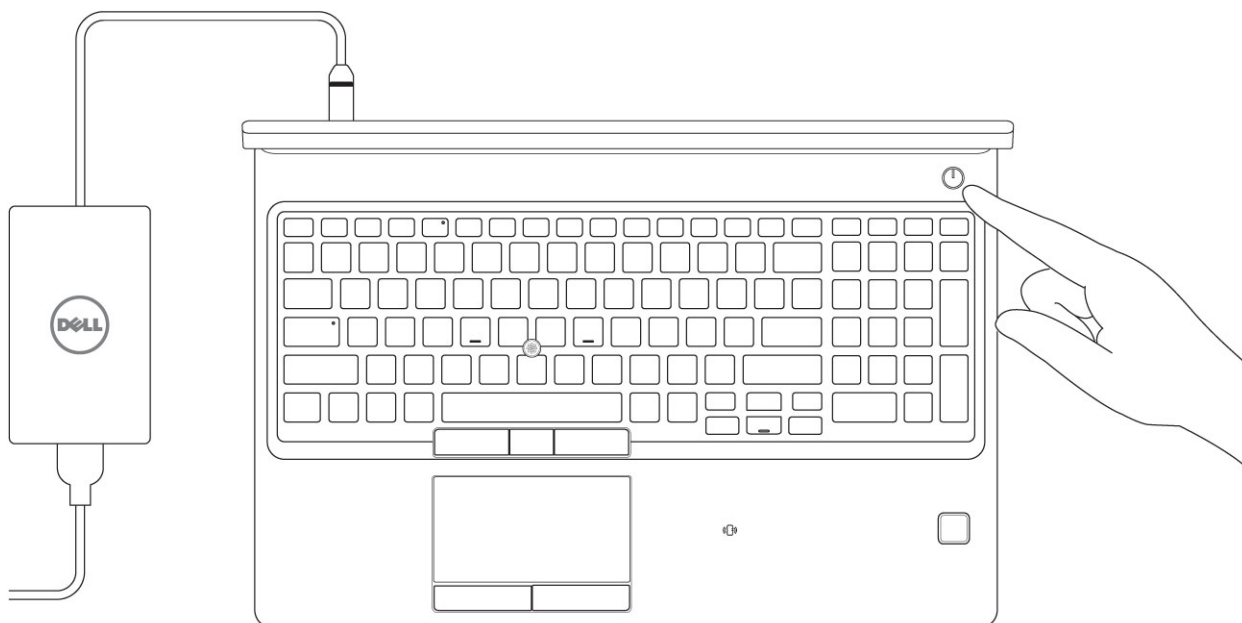
仮想化サポート画面のオプション.....	31
ワイヤレス画面オプション.....	31
メンテナンス画面のオプション.....	32
システムログ画面のオプション.....	32
WindowsでのBIOSのアップデート.....	32
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	33
システムセットアップパスワードの割り当て.....	33
既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更.....	34
<b>章 5: ソフトウェア.....</b>	<b>35</b>
対応オペレーティングシステム.....	35
ドライバのダウンロード.....	35
チップセットドライバのダウンロード.....	35
Intel チップセットドライバ.....	36
Intel HD グラフィックスドライバ.....	36
<b>章 6: ヘルプ.....</b>	<b>37</b>
Dell へのお問い合わせ.....	37

# コンピュータのセットアップ

1. 電源アダプタを接続します。



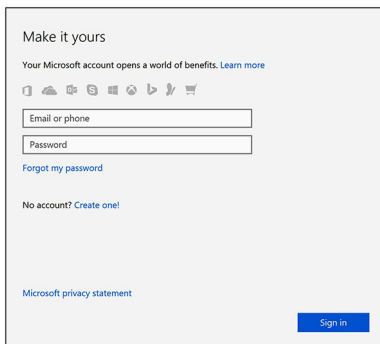
2. 電源ボタンを押します。



3. 画面の手順に従って Windows セットアップを完了します。
  - a. ネットワークに接続します。



b. Microsoft アカウントにサインイン、または新しいアカウントを作成します。



4. Dell アプリを見つけます。

表 1. Dell アプリを見つける

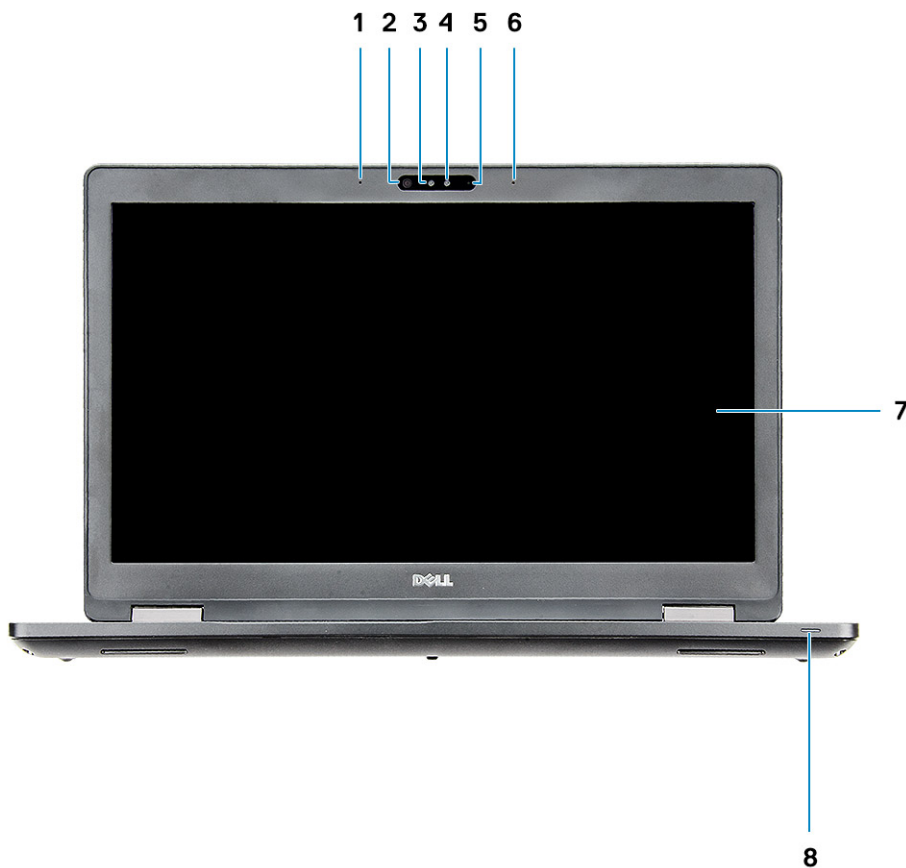
	<p>コンピュータを登録する</p>
	<p>Dell ヘルプとサポート</p> 
	<p>SupportAssist — コンピュータを確認してアップデートする</p>

## シャーシの図

トピック：

- ・ 正面を開いた図
- ・ 背面図
- ・ 左面図
- ・ 右面図
- ・ パームレストの図

## 正面を開いた図



- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. アレイ マイク               | 2. IR (赤外線) カメラ (オプション) |
| 3. 赤外線 (IR) エミッタ (オプション) | 4. カメラステータスライト (オプション)  |
| 5. カメラ (オプション)           | 6. アレイ マイク              |
| 7. LCD パネル               | 8. バッテリー充電ステータスライト      |

**メモ:** コンピューターには HD カメラ モジュールが標準で搭載されており、赤外線カメラはオプションです。

## 背面図



1. ネットワークポート
3. USB 3.1 Gen 1 ポート

2. HDMI ポート
4. 電源コネクタポート

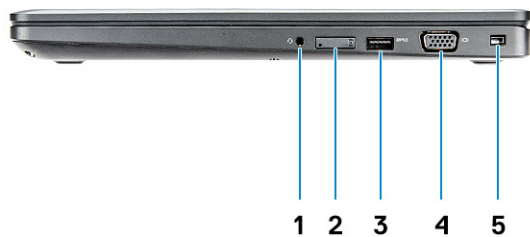
## 左面図



1. DisplayPort over USB Type-C コネクタ ( オプションの Thunderbolt™ 3 )
3. SD カードリーダー

2. USB 3.1 Gen 1 ポート
4. スマートカードリーダー ( オプション )

## 右面図



1. ヘッドセットポート
2. SIM カードスロット (オプション)
3. USB 3.1 Gen 1 ポート
4. VGA ポート
5. Wedge ロックスロット

## パームレストの図



1. 電源ボタン/電源ステータス ライト
2. キーボード
3. パームレスト
4. 指紋リーダー ( オプション )
5. NFC レシーバー ( オプション )
6. タッチパッド

## システム仕様

**メモ:** 提供されるものは地域により異なる場合があります。次の仕様には、コンピューターの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載しています。コンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティング システムで [ヘルプとサポート] を開き、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

### トピック：

- ・ 寸法と重量
- ・ プロセッサ
- ・ システム情報
- ・ オペレーティングシステム
- ・ メモリ
- ・ ポートとコネクタ
- ・ 通信
- ・ オーディオ
- ・ ビデオ
- ・ ストレージ
- ・ メディア カード リーダー
- ・ ディスプレイ
- ・ キーボード
- ・ カメラ
- ・ タッチパッド
- ・ バッテリー
- ・ 入力デバイス
- ・ 電源アダプター
- ・ 環境

## 寸法と重量

表 2. 寸法と重量

高さ	タッチ システム <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前面の高さ - 21.65 mm ( 0.8 インチ )</li> <li>● 背面の高さ - 24.3 mm ( 0.9 インチ )</li> </ul> 非タッチ システム <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前面の高さ - 20.6 mm ( 0.8 インチ )</li> <li>● 背面の高さ - 24.3 mm ( 0.9 インチ )</li> </ul>
幅	376 mm ( 14.8 インチ )
奥行き	250.7 mm ( 9.9 インチ )
重量	最小 1.934 kg ( 4.26 ポンド )

## プロセッサ

グローバル スタンダード 製品 (GSP) は、世界的規模での可用性および同期化された移行のために管理されたデルの関連製品のサブセットです。全世界での購入で同じプラットフォームが使用できるように保証されます。これにより、お客様は世界的に管理さ

れる構成の数を減少させることができ、コストを削減することができます。また、会社では、世界的に特定の製品構成に固定することにより、世界的な IT スタンドアードを実装することもできます。以下に示す GSP プロセッサは、デルのお客様が使用できるようになります。

① **メモ:** プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 3. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス
インテル Core i5-8300H プロセッサ (4 コア、8M キャッシュ、2.3 GHz、35 W cTDP)	インテル UHD グラフィックス 630
インテル Core i5-8400H プロセッサ (4 コア、8M キャッシュ、2.5 GHz、35 W cTDP、vPro)	インテル UHD グラフィックス 630
インテル Core i7-8850H プロセッサ (6 コア、9M キャッシュ、2.6 GHz、35 W cTDP、vPro)	インテル UHD グラフィックス 630

## システム情報

表 4. システム情報

特長	仕様
チップセット	インテル CM246 チップセット
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	{SP1 256 メガビット}
PCIe バス	100 Mhz
外付けバスの周波数	{DMI 3.0-8GT/秒}

## オペレーティングシステム

表 5. オペレーティングシステム

特長	仕様
サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10 Home (64 ビット)</li> <li>Windows 10 Professional (64 ビット)</li> <li>Ubuntu 16.04 LTS (64 ビット)</li> </ul>

## メモリ

表 6. メモリの仕様

機能	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	32 GB

表 6. メモリの仕様 ( 続き )

機能	仕様
スロット数	SODIMM ( 2 )
スロットあたりでサポートされる最大メモリ	16 GB
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4 GB ( 1 x 4 GB )</li> <li>● 8 GB ( 1 x 8 GB )</li> <li>● 8 GB - 2 x 4 GB</li> <li>● 16 GB - 2 x 8 GB</li> <li>● 16 GB ( 1 x 16 GB )</li> <li>● 32 GB - 2 x 16 GB</li> </ul>
タイプ	DDR4 SDRAM Non-ECC メモリ
速度	2666 MHz

## ポートとコネクタ

表 7. ポートとコネクタ

機能	仕様
メモリカードリーダー	SD 4.0 メモリ カード リーダー
スマートカードリーダー	有 ( オプション )
USB	USB 3.1 Gen 1 ( 3、1 つは PowerShare 対応 )
セキュリティ	Noble Wedge ロック スロット
ドッキングポート	DisplayPort over USB Type C ( オプションの Thunderbolt 3 )
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユニバーサルオーディオジャック</li> <li>● ノイズ低減アレイ マイク</li> </ul>
ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HDMI 1.4 ( UMA )</li> <li>● VGA ( 1 )</li> <li>● HDMI 2.0 ( 専用 )</li> </ul>
ネットワークアダプター	RJ-45 コネクタ ( 1 )
シリアルポート	NA
パラレル ポート	NA
SIM カードリーダー	uSIM カード スロット ( 1 )( オプション )

# 通信

表 8. 通信

機能	仕様
ネットワークアダプター	インテル i219LM ギガビット ( 10/100/1000 Mbps ) Ethernet コントローラー ( RJ-45 )、インテル リモート ウェイク アップ、PXE、管理機能アラート ( AMT 11/DASH 1.1 ) 搭載。
ワイヤレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>Qualcomm QCA61x4A 802.11ac Dual Band ( 2x2 ) ワイヤレスアダプター + Bluetooth 4.1</li> <li>Qualcomm QCA61x4A Extended Range 802.11ac MU-MIMO デュアル バンド ( 2x2 ) Wi-Fi + Bluetooth 4.1 LE</li> <li>インテル Dual-Band Wireless - AC 8265 Wi-Fi + BT 4.2 ワイヤレスカード ( 2x2 ) ( Bluetooth はオプション )</li> </ul>

# オーディオ

表 9. オーディオの仕様

機能	仕様
コントローラ	Waves MaxxAudio Pro 搭載 Realtek ALC3246-CG コントローラー
タイプ	マルチチャンネル ハイデフィニション オーディオ
ステレオ変換	HDMI からのデジタルオーディオ出力 - 最大で 7.1 圧縮および非圧縮オーディオ
スピーカー	2 ( 双方向スピーカー )
内部インターフェース	HD オーディオコーデック
インタフェース	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルオーディオジャック</li> <li>高音質スピーカー</li> <li>ノイズ低減アレイ マイク</li> <li>ステレオヘッドセット / マイクコンボ</li> </ul>
アンプ内蔵スピーカー	2 W ( RMS ) / チャンネル
ボリュームコントロール	ホットキー

# ビデオ

表 10. ビデオ

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル UHD グラフィックス 630	UMA	<ul style="list-style-type: none"> <li>インテル Core i5-8300H</li> <li>インテル Core i5-8400H</li> </ul>	内蔵	共有システムメモリ ( 最大 32 GB )	VGA HDMI 1.4 ( UMA ) HDMI 2.0 ( DSC ) eDP ( 内蔵 )	HDMI 1.4 ( UMA ) : 4096x2160 @ 30 Hz、 HDMI 2.0 ( DSC ) : 4096x2160 @ 60 Hz

表 10. ビデオ ( 続き )

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>インテル Core i7-8850H</li> </ul>			オプションの Type-C ポート経由 : DisplayPort	アナログ : ( VGA ) システム 1920x1200 @ 60Hz  最大デジタル : ( Type-C ポートで DP 1.2 ) 4096 x 2304 @ 60Hz
NVIDIA GeForce® MX130	専用	NA	GDDR5	2 GB	DisplayPort HDMI 2.0	HDMI 1.4 ( UMA ) : 4096x2160 @ 30 Hz、 HDMI 2.0 ( DSC ) : 4096x2160 @ 60 Hz アナログ : ( VGA ) システム 1920x1200 @ 60Hz 最大デジタル : ( Type-C ポートで DP 1.2 ) 4096 x 2304 @ 60Hz

## ストレージ

表 11. ストレージの仕様

プライマリ/ブートドライブ	プライマリーインターフェイス	セカンダリドライブ	セカンダリーインターフェイス	セキュリティオプション
SSD M.2 2280 SATA : 最大 512 GB、OPAL SED オプション	SATA AHCI、最大 6 Gbps	M.2 2230 ( WWAN スロット )	PCIe 3 x2 NVMe、最大 16 Gbps	はい
SSD M.2 2280 PCIe/NVMe : 最大 1TB、OPAL SED オプション	PCIe 3 x4 NVMe、最大 32 Gbps		①メモ: 2 番目の SSD ( デュアル SSD ) は、販売時に初期購入した場合にのみサポートされます。	PCIe 3 x2 NVMe、最大 16 Gbps
2.5 インチ ハードドライブ x1 : 最大 1TB、ハイブリッド OPAL SED オプション	SATA AHCI、最大 6 Gbps	M.2 2280 SATA	PCIe 3 x2 NVMe、最大 16 Gbps	はい
SSD M.2 2230 PCIe/NVMe : 最大 256 GB ( WWAN スロットのみ )	PCIe 3 x2 NVMe、最大 16 Gbps		①メモ: 2 番目の SSD ( デュアル SSD ) は、初期購入後に追加することができません。	SATA AHCI、最大 6 Gbps
SSD M.2 2230 PCIe/NVMe : 最大 256 GB ( WWAN スロットのみ )	PCIe 3 x2 NVMe、最大 16 Gbps	2.5 インチ ハードドライブ	SATA AHCI、最大 6 Gbps	いいえ

## メディアカードリーダー

表 12. メディアカードリーダーの仕様

機能	仕様
タイプ	SD 4.0 カード スロット ( 1 )

表 12. メディアカードリーダーの仕様 ( 続き )

機能	仕様
サポートされているカード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SD 4.0</li> <li>● メモリスティック、Pro、HG、Duo、XC</li> <li>● SDHC</li> <li>● SDXC ( Secure Digitale Xtended Capacity ) およびマルチメディアカード</li> <li>● SD UHS-I ( Ultra High Speed-I ) および SD UHS-II ( Ultra High Speed-II ) FD/HD モード</li> </ul>

## ディスプレイ

表 13. ディスプレイの仕様

機能	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 15.6 インチ HD ( 1366 x 768 )、非光沢 ( 16 : 9 )、WLED、220 ニット、非タッチ</li> <li>● 15.6 インチ フル HD WVA ( 1920 x 1080 )、非光沢 ( 16 : 9 )、WLED、220 ニット、非タッチ</li> <li>● 15.6 インチ フル HD WVA ( 1920 x 1080 )、埋め込み型タッチディスプレイ、Truelife 搭載、220 ニット</li> </ul>
高さ ( アクティブエリア )	193.5 mm ( 7.62 インチ )
幅 ( アクティブエリア )	344.2 mm ( 13.55 インチ )
対角線	396.25 mm ( 15.6 インチ )
タッチ パネルの仕様	組み込み型 15.6 インチタッチ パネルでは、10 本の指でのタッチがサポートされています。
明るさ/輝度 ( 標準 )	220/300 ニット
リフレッシュレート	60 Hz
水平可視角度 ( 最小 )	+/-40 度 ( HD ) +85/-85 度 ( フル HD )
垂直可視角度 ( 最小 )	+10/-30 度 ( HD ) +85/-85 度 ( フル HD )

## キーボード

表 14. キーボードの仕様

機能	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 103 ( 米国およびカナダ )</li> <li>● 104 ( ヨーロッパ )</li> <li>● 106 ( ブラジル )</li> <li>● 107 ( 日本 )</li> </ul>
サイズ	フルサイズ

表 14. キーボードの仕様 ( 続き )

機能	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● X = 19.05 mm キー ピッチ</li> <li>● Y = 19.05 mm キー ピッチ</li> </ul>
バックライト付きキーボード	有 ( オプション )
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

## カメラ

表 15. カメラの仕様

機能	仕様
解像度	カメラ : <ul style="list-style-type: none"> <li>● 静止画像 : 0.92 メガピクセル</li> <li>● 動画 : 1280x720 ( 30 fps )</li> </ul> 赤外線カメラ ( オプション ) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 静止画像 : 0.92 メガピクセル</li> <li>● 動画 : 1280x720 ( 30 fps )</li> </ul>
対角視野角	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カメラ : 74 度</li> <li>● 赤外線カメラ : 74 度</li> </ul>

## タッチパッド

表 16. タッチパッドの仕様

機能	仕様
解像度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水平方向 : 1221</li> <li>● 垂直方向 : 661</li> </ul>
寸法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幅 : 101.7 mm ( 4.0 インチ )</li> <li>● 高さ : 55.2 mm ( 2.17 インチ )</li> </ul>
マルチタッチ	最大 5 本の指をサポート。オペレーティングシステムによってジェスチャのサポートは異なります。

## バッテリー

表 17. バッテリーの仕様

機能	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 51 WHr、3 セル、リチウムイオン/ポリマー、ExpressCharge 対応バッテリー</li> <li>● 68 WHr、4 セル、リチウムイオン/ポリマー、ExpressCharge 対応バッテリー</li> </ul>

表 17. バッテリーの仕様 ( 続き )

機能	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 68 WHr、4 セル、リチウムポリマー、長サイクル寿命 バッテリー</li> <li>● 92 WHr、6 セル、リチウムポリマー、ExpressCharge 対応 バッテリー</li> </ul>
寸法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 51 WHr、3 セル、リチウムイオン/ポリマー バッテリー <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長さ : 181 mm ( 7.126 インチ )</li> <li>● 幅 : 95.9 mm ( 3.78 インチ )</li> <li>● 高さ : 7.05 mm ( 0.28 インチ )</li> <li>● 重量 : 250.00 g</li> </ul> </li> <li>2. 68 WHr、4 セル、リチウムイオン/ポリマー <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長さ : 233 mm ( 9.17 インチ )</li> <li>● 幅 : 95.9 mm ( 3.78 インチ )</li> <li>● 高さ : 7.05 mm ( 0.28 インチ )</li> <li>● 重量 : 340.00 g</li> </ul> </li> <li>3. 68 WHr、4 セル、リチウムポリマー バッテリー <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長さ : 233 mm ( 9.17 インチ )</li> <li>● 幅 : 95.9 mm ( 3.78 インチ )</li> <li>● 高さ : 7.05 mm ( 0.28 インチ )</li> <li>● 重量 : 340.00 g</li> </ul> </li> <li>4. 92 WHr、6 セル、リチウムポリマー <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長さ : 332 mm ( 13.07 インチ )</li> <li>● 幅 : 96 mm ( 3.78 インチ )</li> <li>● 高さ : 7.7 mm ( 0.303 インチ )</li> <li>● 重量 : 450.00 g</li> </ul> </li> </ol>
重量 ( 最大 )	0.045 kg ( 0.99 ポンド )
電圧	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 51 WHr - 11.4 VDC</li> <li>● 68 WHr - 7.6 VDC</li> <li>● 68 WHr - 7.6 VDC</li> <li>● 92 WHr - 11.4 VDC</li> </ul>
寿命	300 放電/再充電サイクル ( 標準 ) および 1000 放電/再充電サイクル ( 長時間サイクル )
コンピュータ非起動時の充電時間 ( 概算 )	2 ~ 4 時間
動作時間	動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。
温度範囲 : 動作時	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 充電 : 0°C ~ 50°C ( 32°F ~ 122°F )</li> <li>● 放電 : 0°C ~ 70°C ( 32°F ~ 158°F )</li> </ul>
温度範囲 : 保管時	-20°C ~ 65°C ( -4°F ~ 149°F )
コイン型電池	CR2032

## 入力デバイス

- シングル ポインティング キーボード ( バックライトなし )
- デュアル ポインティング バックライト キーボード

- Dell タッチパッド

## 電源アダプター

表 18. 電源アダプターの仕様

機能	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 90 W アダプタ</li> <li>• 130 W アダプター</li> </ul>
入力電圧	100 VAC ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 90 W - 1.5 A</li> <li>• 130 W - 1.8 A</li> </ul>
アダプタのサイズ	7.4 mm バレル タイプ
入力周波数	50 Hz ~ 60 Hz
出力電流	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 90 W - 4.62 A (継続)</li> <li>• 130 W - 6.67 A (連続)</li> </ul>
定格出力電圧	DC19.5 V
温度範囲 (動作時)	-40° ~ 70° C ( -40° ~ 158° F )
温度範囲 (非動作時)	-40° ~ 70° C ( -40° ~ 158° F )

## 環境

**メモ:** デルの環境機能の詳細については、環境属性のセクションを参照してください。可用性については、特定の地域を参照してください。

表 19. 環境

機能	仕様
省エネルギー型電源装置	内蔵
80 plus bronze 認証	155 W EPA Bronze
80 plus platinum 認証	240 W EPA Platinum
顧客交換可能ユニット	無
リサイクル可能なパッケージ	オプション、米国のみ
マルチパック パッケージ	無
温度範囲	動作時: 0°C ~ 35°C ( 32°F ~ 95°F ) 保管時: -40°C ~ 65°C ( -40°F ~ 149°F )
相対湿度	動作時: 10% ~ 90% ( 結露しないこと ) 保管時: 0% ~ 95% ( 結露しないこと )
高度 (最大)	動作時: 3048 m ( 10000 フィート )

表 19. 環境 ( 続き )

機能	仕様
	保管時 : 10668 m ( 35000 フィート )
衝撃	動作時 : パルス持続時間 2 ミリ秒で 160 G ( 80 インチ/秒に相当 ) 保管時 : パルス持続時間 2 ミリ秒で 160 G ( 80 インチ/秒に相当 )
振動	動作時 : 0.66 Grms 保管時 : 1.33 Grms

# セットアップユーティリティのオプション

**メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

**トピック:**

- ・ ブート シーケンス
- ・ ナビゲーションキー
- ・ セットアップユーティリティの概要
- ・ セットアップユーティリティへのアクセス
- ・ 一般的な画面オプション
- ・ システム設定画面のオプション
- ・ ビデオ画面オプション
- ・ セキュリティ画面オプション
- ・ 安全起動画面のオプション
- ・ Intel ソフトウェアガードエクステンション
- ・ パフォーマンス画面のオプション
- ・ 電力管理画面のオプション
- ・ POST 動作画面のオプション
- ・ 仮想化サポート画面のオプション
- ・ ワイヤレス画面オプション
- ・ メンテナンス画面のオプション
- ・ システムログ画面のオプション
- ・ Windows での BIOS のアップデート
- ・ システムパスワードおよびセットアップパスワード

## ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップ ユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス(例: 光学ドライブまたはハードドライブ)から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップ ユーティリティにアクセスする
- F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ

**メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。

- 光学ドライブ (利用可能な場合)
- SATA ハードドライブ (利用可能な場合)
- 診断

**メモ:** 診断を選択すると **SupportAssist** 画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

# ナビゲーションキー

**メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

## セットアップユーティリティの概要

セットアップユーティリティでは次のことができます。

- お使いのコンピュータのハードウェアを追加、変更、または取り外した後でシステムの構成情報を変更する。
- ユーザーパスワードなど、ユーザーが選択できるオプションを設定または変更する。
- 現在のメモリの容量を読み取る、または取り付けられているハードドライブのタイプを設定する。

セットアップユーティリティを使用する前に、セットアップユーティリティの画面情報を後で参照できるようにメモしておくことをお勧めします。

**注意:** 上級コンピュータユーザーでなければ、このプログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピュータが誤作動を起こす可能性があります。

## セットアップユーティリティへのアクセス

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. 白い Dell のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。

セットアップユーティリティページが表示されます。

**メモ:** キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまで待機します。その後、コンピュータをシャットダウンするか再起動して、操作をやり直してください。

**メモ:** Dell のロゴが表示されたら、<F12> キーを押して、**BIOS セットアップ**を選択することもできます。

## 一般的な画面オプション


このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。

オプション	説明
<b>System Information</b> (システム情報)	<p>このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● System Information (システム情報): BIOS Version (BIOS バージョン)、Service Tag (サービスタグ)、Asset Tag (アセットタグ)、Ownership Tag (所有者タグ)、Ownership Date (購入日)、Manufacture Date (製造日)、Express Service Code (エクスプレスサービスコード) が表示されます。</li><li>● Memory Information (メモリ情報): Memory Installed (搭載容量)、Memory Available (使用可能な容量)、Memory Speed (速度)、Memory Channels Mode (チャンネルモード)、Memory Technology (テクノロジー)、DIMM A Size (DIMM A のサイズ)、DIMM B Size (DIMM B のサイズ) が表示されます。</li></ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセッサ情報：プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック スピード、最小クロック スピード、最大クロック スピード、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジーを表示します。</li> <li>Device Information ( デバイス情報 ): Primary Hard Drive ( プライマリハードドライブ )、M.2 SATA2、M.2 SATA、M.2 PCIe SSD-0、LOM MAC Address ( LOM MAC アドレス )、Video Controller ( ビデオコントローラ )、Video BIOS Version ( ビデオ BIOS バージョン )、Video Memory ( ビデオメモリ )、Panel Type ( パネルのタイプ )、Native Resolution ( ネイティブ解像度 )、Audio Controller ( オーディオコントローラ )、Wi-Fi Device ( Wi-Fi デバイス )、WiGig Device ( WiGig デバイス )、Cellular Device ( 携帯電話デバイス )、Bluetooth Device ( Bluetooth デバイス ) が表示されます。</li> </ul>
<b>Battery Information</b>	バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプタの種類を表示します。
<b>Boot Sequence ( 起動順序 )</b>	<p>コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Diskette Drive</li> <li>Internal HDD ( 内蔵 HDD )</li> <li>USB Storage Device ( USB ストレージデバイス )</li> <li>CD/DVD/CD-RW Drive ( CD/DVD/CD-RW ドライブ )</li> <li>Onboard NIC ( オンボード NIC )</li> </ul>
<b>Advanced Boot Options ( 詳細起動オプション )</b>	このオプションでは、レガシーオプション ROM のロードを有効にできます。デフォルトでは、 <b>Enable Legacy Option ROMs</b> ( レガシーオプション ROM を有効にする ) オプションは無効になっています。
<b>UEFI Boot Path Security ( UEFI 起動パスセキュリティ )</b>	<p>このオプションは、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動するときに、ユーザーに管理者パスワードの入力を求めるかどうかを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Always, except internal HDD ( 常に、内蔵 SSD を除く )</li> <li>Always ( 常に )</li> <li>Never ( 使用しない ) ( デフォルトで有効 )</li> </ul>
<b>Date/Time ( 日付 / 時刻 )</b>	日付と時刻を変更することができます。

## システム設定画面のオプション


オプション	説明
<b>Integrated NIC ( 内蔵 NIC )</b>	<p>内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Disabled ( 無効 )</li> <li>Enabled ( 有効 )</li> <li>Enabled w/PXE ( PXE 付で有効 ) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています</li> </ul>
<b>Parallel Port</b>	<p>ドッキングステーションの平行ポートを設定することができます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Disabled ( 無効 )</li> <li>AT: このオプションはデフォルトで有効に設定されています</li> <li>PS2</li> <li>ECP</li> </ul>
<b>Serial Port</b>	<p>内蔵シリアルポートを設定することができます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Disabled ( 無効 )</li> <li>COM1: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> <li>COM2</li> <li>COM3</li> <li>COM4</li> </ul>

オプション	説明
<b>SATA Operation (SATA オペレーション)</b>	<p>内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効)</li> <li>• AHCI</li> <li>• RAID On (RAID オン): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> </ul>
<b>Drives (ドライブ)</b>	<p>基板上的 SATA ドライブを設定することができます。すべてのドライブがデフォルトで有効に設定されています。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SATA-0</li> <li>• SATA-2</li> <li>• SATA-4</li> <li>• M.2 PCI-e SSD-0</li> </ul>
<b>SMART Reporting (SMART レポート)</b>	<p>このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis And Reporting Technology) 仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする)</li> </ul>
<b>USB Configuration (USB 設定)</b>	<p>これはオプションの機能です。</p> <p>このフィールドでは、内蔵 USB コントローラを設定します。Boot Support (起動サポート) が有効な場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス (HDD、メモリーキー、フロッピー) から起動できます。</p> <p>USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効で、OS で利用できます。</p> <p>USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたデバイスを認識できません。</p> <p>オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) (デフォルトで有効)</li> <li>• Enable External USB Port (外部 USB ポートを有効にする) (デフォルトで有効)</li> <li>• Enable Thunderbolt Ports (Thunderbolt ポートを有効にする) (デフォルトで有効)</li> <li>• Enable Thunderbolt Boot Support (Thunderbolt 起動サポートを有効にする)</li> <li>• Always Allow Dell Docks (常に Dell ドックを許可 (デフォルトで有効))</li> <li>• Enable Thunderbolt (and PCIe behind TBT) Pre-boot (Thunderbolt (および TBT の後ろの PCIe) Pre-boot を有効にする)</li> <li>• Security level — No Security (セキュリティレベル - セキュリティなし)</li> <li>• Security level — User Configuration (セキュリティレベル - ユーザー設定) (デフォルトで有効)</li> <li>• Security level - Secure connect (セキュリティレベル - 安全な接続)</li> <li>• Security level - Display Port Only (セキュリティレベル - ディスプレイポートのみ)</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
<b>USB PowerShare</b>	<p>このフィールドでは、USB PowerShare 機能の動作を設定します。このオプションでは、USB PowerShare ポート経由で、システム内蔵のバッテリー電源から外付けデバイスを充電できます。</p>
<b>オーディオ</b>	<p>このフィールドでは、統合オーディオコントローラを有効または無効にします。デフォルトでは <b>Enable Audio (オーディオを有効にする)</b> オプションが選択されています。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Microphone (マイクを有効にする) (デフォルトで有効)</li> <li>• Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) (デフォルトで有効)</li> </ul>
<b>Keyboard Illumination</b>	<p>このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。キーボードの輝度レベルを、0% ~ 100% の間で設定できます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効)</li> <li>• Dim (暗い)</li> <li>• Bright (明るい) (デフォルトで有効)</li> </ul>
<b>Keyboard Backlight Timeout on AC</b>	<p>Keyboard Backlight Timeout (キーボードバックライトのタイムアウト) は、AC オプションで暗くなります。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に効果があります。</p>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5 秒</li> <li>● 10 秒 ( デフォルトで有効 )</li> <li>● 15 秒</li> <li>● 30 秒</li> <li>● 1 分間</li> <li>● 5 分間</li> <li>● 15 分間</li> <li>● なし</li> </ul>
<b>Keyboard Backlight Timeout on Battery</b>	<p>Keyboard Backlight Timeout ( キーボードバックライトのタイムアウト ) は、バッテリーオプションで暗くなります。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に効果があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 5 秒</li> <li>● 10 秒 ( デフォルトで有効 )</li> <li>● 15 秒</li> <li>● 30 秒</li> <li>● 1 分間</li> <li>● 5 分間</li> <li>● 15 分間</li> <li>● なし</li> </ul>
<b>Keyboard Backlight with AC</b>	<p>AC オプション搭載のキーボードバックライトは、メインのキーボードライト機能は影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に効果があります。</p>
タッチスクリーン	<p>このフィールドは、タッチスクリーンを有効にするか無効にするかを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Touchscreen ( タッチスクリーン ) ( デフォルトで有効 )</li> </ul>
<b>Unobtrusive Mode</b>	<p>このオプションを有効にして、Fn+F7 を押すと、システム内のすべてのライトとサウンドがオフになります。通常の動作に戻すには、Fn+F7 をもう一度押します。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
<b>Miscellaneous Devices ( その他のデバイス )</b>	<p>次のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Enable Camera ( カメラを有効にする ) — デフォルトで有効</li> <li>● Enable Hard Drive Free Fall Protection ( ハードドライブの落下保護を有効にする ) ( デフォルトで有効 )</li> <li>● Enable Secure Digital (SD) Card ( SD ( Secure Digital ) カードを有効にする ) ( デフォルトで有効 )</li> <li>● Secure Digital (SD) Card Boot ( SD カード起動 )</li> <li>● Secure Digital (SD) Card Read-Only-Mode ( SD カード読み取り専用モード )</li> </ul>

## ビデオ画面オプション

オプション	説明
<b>LCD Brightness</b>	電源 ( バッテリーおよび AC ) に応じてディスプレイの輝度を設定することができます。

 **メモ:** ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。

## セキュリティ画面オプション


オプション	説明
<b>Admin Password ( 管理者パスワード )</b>	管理者 ( Admin ) パスワードを設定、変更、または削除することができます。

オプション	説明
	<p><b>i</b> <b>メモ:</b> システムパスワードまたはハードドライブパスワードを設定する前に、管理者パスワードを設定してください。管理者パスワードを削除すると、システムパスワードとハードドライブパスワードも自動的に削除されます。</p> <p><b>i</b> <b>メモ:</b> パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定：Not set (未設定)</p>
<b>System Password</b> (システムパスワード)	<p>システムパスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p><b>i</b> <b>メモ:</b> パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定：Not set (未設定)</p>
<b>M.2 SATA SSD Password</b>	<p>M.2 SATA SSD パスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p><b>i</b> <b>メモ:</b> パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定：Not set (未設定)</p>
<b>Strong Password</b> (強力なパスワード)	<p>常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。</p> <p>デフォルト設定：Enable Strong Password (強力なパスワードを有効にする) は選択されていません。</p> <p><b>i</b> <b>メモ:</b> Strong Password (強力なパスワード) を有効に設定すると、管理者パスワードとシステムパスワードを大文字と小文字をそれぞれ少なくとも 1 文字含む、8 文字以上の長さにしなければなりません。</p>
<b>Password Configuration</b> (パスワード設定)	<p>管理者パスワードとシステムパスワードの最小および最大文字数を設定することができます。</p>
<b>Password Bypass</b> (パスワードのスキップ)	<p>システムパスワードと内蔵 HDD パスワードが設定されている場合に、これらのパスワードをスキップする許可を有効または無効にすることができます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Disabled (無効)</li> <li>● Reboot bypass (再起動のスキップ)</li> </ul> <p>デフォルト設定：Disabled (無効)</p>
<b>Password Change</b> (パスワードの変更)	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードへの許可を、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定：<b>Allow Non-Admin Password Changes</b> (管理者以外のパスワード変更を許可する) が選択されています。</p>
<b>Non-Admin Setup Changes</b>	<p>管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは管理者パスワードによってロックされます。</p>
<b>UEFI Capsule Firmware Updates</b> (UEFI カプセルファームウェアアップデート)	<p>このシステムで UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかをコントロールできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Enable UEFI Capsule Firmware Updates (UEFI カプセルファームウェアのアップデートを有効にする) (デフォルトで有効)</li> </ul>
<b>TPM 2.0 Security</b> (TPM 2.0 セキュリティ)	<p>POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効にすることができます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● TPM On (TPM オン) (デフォルトで有効)</li> <li>● Clear (クリア)</li> <li>● PPI Bypass for Enabled Commands (有効なコマンドの PPI バイパス) (デフォルトで有効)</li> <li>● Attestation Enable (証明書を有効にする) (デフォルトで有効)</li> <li>● Key Storage Enable (キーストレージを有効にする) (デフォルトで有効)</li> <li>● PPI Bypass for Disabled Commands (無効なコマンドの PPI をスキップ)</li> <li>● SHA-256 (デフォルトで有効)</li> <li>● Disabled (無効)</li> <li>● Enabled (有効)</li> </ul>

オプション	説明
	<p><b>メモ:</b> TPM1.2/2.0 をアップグレードまたはダウングレードするには、TPM ラッパーツール (ソフトウェア) をダウンロードします。</p>
<b>Computrace</b>	<p>オプションである Computrace ソフトウェアをアクティブまたは無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Deactivate (非アクティブ)</li> <li>Disable (無効)</li> <li>Activate (アクティブ)</li> </ul> <p><b>メモ:</b> Activate (アクティブ) および Disable (無効) オプションでは、機能を永久的にアクティブまたは無効にします。その後の変更はできません。</p> <p>デフォルト設定: Deactivate (非アクティブ)</p>
<b>CPU XD Support (CPU XD サポート)</b>	<p>プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効にすることができます。</p> <p>Enable CPU XD Support (CPU XD サポートを有効にする) (デフォルト)</p>
<b>OROM Keyboard Access</b>	<p>起動中にホットキーを使用して、Option ROM Configuration (オプション ROM 設定) 画面を表示するオプションを設定することができます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable (有効)</li> <li>One Time Enable (1回のみ有効)</li> <li>Disable (無効)</li> </ul> <p>デフォルト設定: Enable (有効)</p>
<b>Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウト)</b>	<p>管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を防止することができます。</p> <p>デフォルト設定: <b>Disabled (無効)</b></p>
<b>Master Password Lockout</b>	<p>マスターパスワードのサポートを無効にすることができます。設定を変更する前に、ハードディスクパスワードをクリアする必要があります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable Master Password Lockout (マスターパスワードのロックアウトを有効化) (無効)</li> </ul>

## 安全起動画面のオプション

オプション	説明
<b>Secure Boot Enable</b>	<p>このオプションは、<b>安全起動機能</b>を有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Disabled (無効)</li> <li>有効</li> </ul> <p>デフォルト設定: Enabled (有効)</p>
<b>Secure Boot Mode</b>	<p>Secure Boot 操作モードに変更することができます。Secure Boot の動作を変更して UEFI ドライバ署名の評価または施行を可能にします。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Deployed Mode</b>—実行を許可する前に、UEFI ドライバとブートローダーの整合性をチェックします。</li> <li><b>Audit Mode</b>—署名チェックを実行しますが、すべての UEFI ドライバとブートローダーの実行はブロックしません。</li> </ul> <p>デフォルト設定: Deployed Mode</p>
<b>Expert Key Management</b>	<p>システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。</p> <p><b>Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする)</b> オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PK</li> <li>KEK</li> <li>db</li> </ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• dbx</li> </ul> <p><b>Custom Mode (カスタムモード)</b> を有効にすると、<b>PK、KEK、db、および dbx</b> の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Save to File (ファイルに保存)</b> — ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。</li> <li>• <b>Replace from File (ファイルから置き換え)</b> — 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと置き換えます。</li> <li>• <b>Append from File (ファイルから追加)</b> — ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。</li> <li>• <b>Delete (削除)</b> — 選択したキーを削除します。</li> <li>• <b>Reset All Keys (すべてのキーをリセット)</b> — デフォルト設定にリセットします。</li> <li>• <b>Delete All Keys (すべてのキーを削除)</b> — すべてのキーを削除します。</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> <b>Custom Mode</b> を無効にすると、変更内容がすべて消去され、キーがデフォルト設定に復元されます。</p>

## Intel ソフトウェアガードエクステンション

オプション	説明
<b>Intel SGX Enable (Intel SGX を有効にする)</b>	<p>このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効)</li> <li>• Enabled (有効)</li> <li>• Software Controlled (ソフトウェア制御): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> </ul>
<b>Enclave Memory Size (エンクレイブメモリサイズ)</b>	<p>このオプションで、SGX Enclave Reserve メモリサイズを設定します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 32 MB</li> <li>• 64 MB</li> <li>• 128 MB</li> </ul>

## パフォーマンス画面のオプション

オプション	説明
<b>Multi Core Support</b>	<p>このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• All (すべて) (デフォルトで有効)</li> <li>• 1</li> <li>• 2</li> <li>• 3</li> </ul>
<b>Intel SpeedStep</b>	<p>Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)</li> </ul> <p>デフォルト設定: オプションは有効に設定されています。</p>
<b>C-States Control</b>	<p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• C States</li> </ul> <p>デフォルト設定: オプションは有効に設定されています。</p>
<b>Intel TurboBoost</b>	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする)</li> </ul>

## オプション 説明

デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。

# 電力管理画面のオプション


## オプション 説明

- AC Behavior** ACアダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。  
デフォルト設定：Wake on AC (ウェイクオン AC) は選択されていません。
- Auto On Time (自動電源オン時刻)** コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。オプションは次のとおりです
- Disabled (無効)
  - Every Day (毎日)
  - Weekdays (平日)
  - Select Days (選択した日)
- デフォルト設定：Disabled (無効)
- USB Wake Support (USB ウェイクサポート)** USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。  
**メモ:** この機能は AC アダプターが接続されている場合のみ機能します。待機状態で AC 電源アダプタを取り外すと、セットアップユーティリティはバッテリーの電力を節約するため、すべての USB ポートへの電力供給を停止します。
- Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)
  - Wake on Dell USB-C Dock (ウェイクオン Dell USB-C ドック) (デフォルトで有効)
- Wireless Radio Control** 物理的な接続に頼ることなく、ネットワークを有線または無線に自動的に切り替える機能を有効または無効にすることができます。
- Control WLAN Radio (WLAN 無線のコントロール)
  - Control WWAN Radio (WWAN 無線のコントロール)
- デフォルト設定：オプションは無効に設定されています。
- Wake on LAN/WLAN (ウェイクオン LAN / WLAN)** LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。
- Disabled (無効)
  - LAN Only (LAN のみ)
  - WLAN Only (WLAN のみ)
  - LAN or WLAN (LAN または WLAN)
- デフォルト設定：Disabled (無効)
- Block Sleep (スリープのブロック)** このオプションでは、オペレーティングシステムでスリープ (S3 状態) に入るのをブロックします。  
Block Sleep (S3 状態)  
デフォルト設定：オプションは無効に設定されています。
- Peak Shift** このオプションでは、ピーク時の AC 電源消費を最小限に抑えることができます。このオプションを有効にすると、システムは AC に接続されている場合でもバッテリーのみで動作します。
- Advanced Battery Charge Configuration** このオプションでは、バッテリー性能を最大限に高めることができます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。  
Disabled (無効)  
デフォルト設定：Disabled (無効)
- Primary Battery Charge Configuration** バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは次のとおりです
- 適応
  - Standard (標準) - 標準速度でバッテリーをフル充電します。

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Express Charge (高速充電) - デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています</li> <li>Primarily AC use (主に AC を使用)</li> <li>カスタム</li> </ul> <p>Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p><b>メモ:</b> バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。このオプションを有効にするには、<b>Advanced Battery Charge Configuration (高度なバッテリー充電設定)</b> オプションを無効にする必要があります。</p>
スリープモード	<p>このオプションを使用して、オペレーティングシステムで使用するスリープモードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>OS Automatic selection (OS の自動選択)</li> <li>Force S3 (S3 を強制) (デフォルトで有効)</li> </ul>
Type-C Connector Power (Type-C コネクタ電源)	<p>このオプションを使用すると、USB Type-C コネクタから取り込むことのできる最大電力を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7.5 W (デフォルトで有効)</li> <li>15 W</li> </ul>

## POST 動作画面のオプション

オプション	説明
Adapter Warnings	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定: Enable Adapter Warnings (アダプタ警告を有効にする)。</p>
Keypad (Embedded)	<p>内蔵キーボードに組み込まれているキーパッドを有効にする 2 つの方法のうち、1 つを選択することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Fn Key Only (Fn キーのみ): このオプションはデフォルトで有効に設定されています</li> <li>By Numlock</li> </ul> <p><b>メモ:</b> セットアップの実行中は、このオプションは動作に影響しません。セットアップは、Fn Key Only (Fn キーのみ) モードで動作します。</p>
Mouse/Touchpad	<p>マウスとタッチパッドからの入力をシステムがどう処理するかを定義することができます。オプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Serial Mouse (シリアルマウス)</li> <li>PS2 Mouse (PS2 マウス)</li> <li>Touchpad/PS-2 Mouse (タッチパッド / PS-2 マウス): このオプションはデフォルトで有効に設定されています</li> </ul>
Numlock Enable	<p>コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。</p> <p>Enable Network (ネットワークを有効にする)。このオプションはデフォルトで有効化されています</p>
Fn Key Emulation	<p>&lt;Scroll Lock&gt; キーを使用して、&lt;Fn&gt; キーの機能をシミュレートするオプションを設定することができます。</p> <p>Enable Fn Key Emulation (Fn キーのエミュレートを有効にする) (デフォルト)</p>
Fn Lock Options	<p>ホットキーの組み合わせ &lt;Fn&gt;+&lt;Esc&gt; で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。利用できるオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Fn Lock このオプションは、デフォルトで選択されています</li> <li>ロックモード無効 / 標準</li> <li>ロックモード有効 / セカンダリ</li> </ul>

オプション	説明
<b>Fastboot (高速起動)</b>	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。オプションは次のとおりです <ul style="list-style-type: none"> <li>Minimal (最小)</li> <li>Thorough (完全) (デフォルト)</li> <li>Auto (自動)</li> </ul>
<b>Extended BIOS POST Time</b>	プレブート遅延を追加で作成できます。オプションは次のとおりです <ul style="list-style-type: none"> <li>0 秒。このオプションはデフォルトで有効化されています</li> <li>5 秒</li> <li>10 秒</li> </ul>
<b>Full Screen logo (フルスクリーンロゴ)</b>	このオプションでは、お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーンロゴを表示するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable Full Screen Logo (フルスクリーンロゴを有効にする)</li> </ul>
<b>Warnings and Errors (警告およびエラー)</b>	このオプションでは、警告またはエラーが検出された場合に起動プロセスが一時停止するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Prompt on Warnings and Errors (警告およびエラーでプロンプト): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> <li>Continue on Warnings (警告検出でも続行)</li> <li>Continue on Warnings and Errors (警告およびエラーの検出でも続行)</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> システムハードウェアの動作にとって重大と判断されるエラーが検出された場合、システムは常に停止します。</p>

## 仮想化サポート画面のオプション

オプション	説明
<b>Virtualization(バーチャライゼーション)</b>	Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。 Enable Intel Virtualization Technology (Intel バーチャライゼーションテクノロジーを有効にする): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
<b>VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT)</b>	ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用の仮想化テクノロジーを有効にする): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
<b>Trusted Execution</b>	このオプションでは、Intel Trusted Execution テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM 仮想化テクノロジーとダイレクト I/O 用仮想化テクノロジーを有効にする必要があります。 Trusted Execution (トラステッドエグゼキューション): このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

## ワイヤレス画面オプション

オプション	説明
<b>Wireless Switch</b>	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。オプションは次のとおりです <ul style="list-style-type: none"> <li>WWAN</li> <li>GPS (WWAN モジュール)</li> <li>WLAN/WiGig</li> </ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Bluetooth</li> </ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p> <p><b>メモ:</b> WLAN および WiGig は一緒に有効または無効にできますが、個別に有効または無効にすることはできません。</p>
<b>Wireless Device Enable</b>	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WWAN/GPS</li> <li>WLAN/WiGig</li> <li>Bluetooth</li> </ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

## メンテナンス画面のオプション

オプション	説明
<b>Service Tag ( サービスタグ )</b>	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
<b>Asset Tag ( 資産タグ )</b>	資産タグが未設定の場合、システムの資産タグを作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>BIOS Downgrade ( BIOS ダウングレード )</b>	<p>ここで、システムファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Allows BIOS Downgrade ( BIOS のダウングレードを許可 )( デフォルトで有効 )</li> </ul>
<b>Data Wipe ( データ消去 )</b>	<p>このフィールドでは、すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去するかどうかを制御できます。次に、対象となるデバイスのリストを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵 SATA HDD/SSD</li> <li>内蔵 M.2 SATA SDD</li> <li>内蔵 M.2 PCIe SSD</li> <li>Internal eMMC</li> </ul>
<b>BIOS Recovery ( BIOS リカバリ )</b>	<p>このフィールドで、ユーザーのプライマリハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BIOS Recovery from Hard Drive ( ハードドライブからの BIOS のリカバリ )( デフォルトで有効 )</li> <li>BIOS Auto-Recovery ( BIOS の自動リカバリ )</li> <li>Always perform Integrity Check ( 常に整合性チェックを実行 )</li> </ul>

## システムログ画面のオプション

オプション	説明
<b>BIOS Events</b>	セットアップユーティリティ ( BIOS ) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
<b>Thermal Events</b>	セットアップユーティリティ ( Thermal ) のイベントを表示またはクリアすることができます。
<b>Power Events</b>	セットアップユーティリティ ( Power ) のイベントを表示またはクリアすることができます。

## Windows での BIOS のアップデート

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS ( システム セットアップ ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、BIOS のアップデートを開始する前に、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。

**メモ:** BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. PC を再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
  - サービス タグやエクスプレス サービス コードを入力し、**送信**をクリックします。
  - [ **Detect Product** ] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[ **Choose from all products** ] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。

**メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の製品サポートページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。  
[ Drivers and Downloads ] セクションが開きます。
7. [ **Find it myself** ] をクリックします。
8. [ **BIOS** ] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **Please select your download method below** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**ファイルのダウンロード**をクリックします。  
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、**保存**をクリックします。
12. **実行**をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。  
画面の指示に従います。

## システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 20. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

**注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

**注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

**メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

## システムセットアップパスワードの割り当て

ステータスが**未設定**の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは**管理者**パスワードを割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステム セットアップ画面で、**セキュリティ**を選択し、**Enter** を押します。  
セキュリティ画面が表示されます。
2. システム/管理者パスワードを選択し、**新しいパスワード**を入力フィールドでパスワードを作成します。  
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
  - パスワードの文字数は 32 文字までです。
  - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
  - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。

- 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、( )、( + )、( , )、( - )、( . )、( / )、( ; )、( [ )、( \ )、( ] )、( ` )

3. **新しいパスワードの確認**フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
4. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. **Y** を押して変更を保存します。  
PC が再起動します。

## 既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、パスワード ステータスが (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に **F2** を押します。

1. システム **BIOS** 画面またはシステム セットアップ画面で、システム セキュリティを選択し、**Enter** を押します。  
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. システム パスワードを選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
4. セットアップ パスワードを選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。  
**①** **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. **Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。  
PC が再起動されます。

## ソフトウェア

トピック：

- ・ 対応オペレーティングシステム
- ・ ドライバのダウンロード
- ・ チップセットドライバのダウンロード
- ・ Intel チップセットドライバ
- ・ Intel HD グラフィックスドライバ


## 対応オペレーティングシステム

次のリストに、対応するオペレーティングシステムを示します。


表 21. 対応オペレーティングシステム

対応オペレーティングシステム	オペレーティングシステムの説明
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Microsoft Windows 10 Pro ( 64 ビット )</li> <li>● Microsoft Windows 10 Home ( 64 ビット )</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Ubuntu</li> </ul>
OS メディアサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Dell.com/support から該当する Windows OS をダウンロード</li> <li>● アップセル用の USB メディアを用意</li> </ul>

## ドライバのダウンロード

1. ラップトップの電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、ノート PC のサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。  
 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノート PC のモデルを手動で確認してください。
4. **Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード)** をクリックします。
5. お使いのノート PC にインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、インストールするドライバを選択します。
7. [ **Download File** ] をクリックして、お使いのノートパソコンのドライバをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

## チップセットドライバのダウンロード

1. ノート PC の電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、ノート PC のサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。  
 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノート PC のモデルを手動で確認してください。

4. ドライバおよびダウンロード をクリックします。
5. お使いのノート PC にインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページをスクロールダウンしてチップセットを展開し、チップセットドライバを選択します。
7. **Download File ( ファイルをダウンロード )** をクリックして、お使いのノート PC のチップセットドライバの最新バージョンをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
9. チップセットドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

## Intel チップセットドライバ

Intel チップセットドライバがすでにノート PC にインストールされているかどうかを確認します。

表 22. Intel チップセットドライバ

インストール前	インストール後

## Intel HD グラフィックスドライバ

Intel HD グラフィックスドライバがすでにノート PC にインストールされているかどうかを確認します。

表 23. Intel HD グラフィックスドライバ

インストール前	インストール後

トピック：

- ・ [Dell へのお問い合わせ](#)

## Dell へのお問い合わせ

**① | メモ:** インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

Dell では、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell のセールス、テクニカル サポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。